

令和2年 12月定例会

福井県議会だより

第31号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

12月定例会は、11月26日に開会し、12月22日まで27日間にわたって審議を行いました。

開会日には、立皇嗣の礼に関する賀詞奉呈決議案が可決され、続いて永年勤続議員表彰が行われました。開会直前に北陸新幹線の工期の遅延等の問題が顕在化したことを受け、知事提案理由では、政府・与党に対し、工期短縮と地方の財政負担軽減について強く申し入れたとの説明がありました。また、9月定例会からの継続審査となっていた令和元年度決算の認定2件と議員および職員の給与等の減額改定議案1件を可決しました。

代表質問、一般質問では、北陸新幹線の開業遅れの報告が県に事前になかった問題や、並行在来線の追加経費など増嵩費用の負担や県内経済への損失等についての国の措置責任、また、運転開始から40年を超える原簿の再稼働については、使用済核燃料の中間貯蔵施設計画地点の提示の見通し等に関する質問が中心となり

ました。

北陸新幹線に関しては、一般質問の2日目の本会議において、国が予定通りの開業実現に向けてあらゆる手段を講じることや、増嵩する事業費を全国において速やかに確保することなどを求める意見書案を可決しました。また急遽、全員協議会も開催し、国土交通省担当者から北陸新幹線に関する国の検証委員会の中間報告等について説明を受けました。

この他にも、新型コロナ対策、原子力政策、観光振興、農業政策、教育行政など県政全般にわたり幅広く議論が行われました。

こうした審議を経て、閉会日には北陸新幹線の工期厳守と地方負担の縮減等を求める決議案を可決し、また、選挙管理委員等の選挙、追加提案された教育委員の任命を含む37議案を可決または同意するとともに、請願5件の採決を行い付議された案件の審議を終了しました。

感染症患者搬送車を議員報酬減額分を活用して整備しました

新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源の一部として活用するため、令和2年7月以降6か月にわたり議員報酬を1割減額してきましたが、その減額分を充当して「感染症患者搬送専用車両」が新たに3台整備され、令和2年12月22日（火）に県庁正面玄関で納車式が行われました。

今回新たに整備された3台は、坂井保健所（あわら市）・丹南保健所（鯖江市）・二州保健所（敦賀市）にそれぞれ配備され、これまでの県庁（福井市）・若狭保健所（小浜市）と合わせて5か所を拠点にして、県内全域で患者搬送業務にあたっています。





審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

県会自民党 大森 哲男 議員



知事の政治姿勢について

- ・今回の北陸新幹線金沢・敦賀間の工事の遅れや事業費の増加について、改めて知事の受け止めを伺うとともに、今後、国にどのような対応を求めていくのか、所見を伺う。
- ・原子力発電所の40年超運転の安全性や必要性をはじめ、原子力政策に対する国民や県民の理解についての認識を伺うとともに、使用済燃料の中間貯蔵施設の県外立地の問題も含め、40年超運転の同意判断における今後の対応方針について、知事の所見を伺う。

県会自民党 小堀 友廣 議員



地方創生・移住促進について

- ・コロナ禍の影響による地方移住の機運の高まりの中で、本県の「何」をPRして他県との差別化を図り移住促進へとつなげていくのか、具体的な戦略について、知事の所見を伺う。
- ・新型コロナ対策として実施してきた県内企業等への支援策の効果と課題について伺うとともに、今後の支援の方向性と、事態の長期化をにらんだ体制強化の必要性について、所見を伺う。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



エネルギー行政について

- ・廃止措置原発の低レベル放射性廃棄物の処分について、県として、国や電力事業者に対して、処分施設や処分場所の方向性を明確に示すよう求めていく段階にきていると考えるが、知事の所見を伺う。

福祉行政について

- ・新型コロナウイルス感染症対策について、改めて注意報・警報の指標を見直した背景、根拠を伺うとともに、知事は、本県の感染状況をどのように捉え、感染拡大を防ぐため、県民への感染症対策の徹底をどのように図るか、所見を伺う。

福井県議会議員表彰

11月26日に、永年勤続議員の表彰式を行いました。表彰の内容は、以下のとおりです。

①福井県議会議員表彰 ②全国都道府県議会議長会表彰 ③知事感謝状贈呈



永年勤続30年

山本 芳男 議員



永年勤続10年

田中 宏典 議員

一般質問

無所属 細川 かをり 議員



- ・コロナ禍でのセーフティネットについて
- ・県営住宅について
- ・福井の古代史と古墳発掘調査について

声出せず困窮されている人はおられませんか。セーフティネットを訴えました。

県会自民党 清水 智信 議員



- ・若者に魅力ある企業誘致について
- ・アスリートのセカンドキャリアの受け皿を福井に（福井モデル）
- ・コロナ禍における玄そばの価格について
- ・ふくい園芸カレッジについて

若者に魅力ある企業誘致政策やアスリートのセカンドキャリアの受け皿を福井で

民主・みらい 辻 一憲 議員



- ・介護・障がい福祉分野の人材確保について
- ・再生可能エネルギーの推進について
- ・教育旅行と農家漁家民宿について
- ・海岸の環境美化

介護・障がい福祉分野の人材確保の課題を調査、対策を議論しました。

公明党 西本 恵一 議員



- ・新型コロナ対策について
- ・労働者協同組合について
- ・Uターン支援について
- ・保育士について
- ・県庁デジタル化について

保育士について勤務状況に応じた処遇がなされているか実態を把握してほしい。

県会自民党 田中 宏典 議員



- ・北陸新幹線について
- ・原子力政策について

40年超運転、その先、立地地域と原子力の未来を示すべき！

県会自民党 長田 光広 議員



- ・観光振興等について
- ・県産食材の販路開拓について
- ・県民衛星プロジェクトについて
- ・再生可能エネルギー導入について
- ・道路整備に係る計画について

新幹線遅延やコロナ克服し県民みなさまとしっかり頑張らせていただきます！

県会自民党 山本 建 議員



- ・長期ビジョンの実現とDXの推進について
- ・嶺北忠霊塔について
- ・県立学校の維持管理について

嶺北忠霊塔の問題が一步前進。引き続き取り組んで参ります。

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・コロナ禍での学生支援強化、検査体制充実を
- ・新幹線建設費の新たな負担増拒否を
- ・福島原発事故から間もなく10年、原発推進県政の転換を
- ・国会でウソの答弁を繰り返す政治でいいのか

コロナ禍で困っている県民・学生・企業・医療機関を支援する優しい政治を！

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・新幹線遅延問題と賠償等について
- ・犯罪被害者支援条例の改善案について
- ・街路灯等のLED化におけるPPP等について
- ・特別支援教育について

新幹線遅延関係法律問題は喫緊の重要課題。しっかり議論していきます。

県会自民党 小寺 惣吉 議員



- ・農業行政について
- ・観光行政について
- ・土木行政について
- ・並行在来線の利便性向上策について

並行在来線の新駅設置は重要ポイント
水稲早生品種の育成は福井の農業を開く

県会自民党 兼井 大 議員



- ・夜間観光による誘客促進について
- ・ツキノワグマによる人身被害防止について
- ・ICTを活用した安全安心のまちづくりについて
- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響について
- ・コロナ禍における移住促進策について

冬季間の各種リスクについて質問させて頂きました。

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・県立大学の古生物学関係の新学部について
- ・恐竜、日本遺産を活用した観光振興について
- ・アンテナショップの現状と今後について
- ・大和堆での安全操業について

漁業関係の皆さんの安心安全のため、大和堆での違法操業船取り締まりの徹底を！



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

一般質問

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・公共交通のキャッシュレス化について
- ・児童虐待対策について
- ・児童科学館について
- ・横断歩道における車の一時停止について
- ・若年層の介護人材確保に向けて

年々増え続ける児童虐待への対応強化策について提言、今後も取組んでいきます。

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・テレワークと移住戦略について
- ・公契約条例を議論すべき情勢について
- ・県都の「ほこみち」まちづくりについて

移住戦略のキャッチフレーズとUターンセンターのあり方を提言しました。

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・北陸新幹線について
- ・海洋ごみについて
- ・福井を舞台にした作品を利用したPRについて

嶺南の海洋ごみ処理や、サブカルチャーを利用した福井県のPRを提言しました。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のための議会運営にご協力ください

- 議事堂入口にサーモカメラを設置しています
- マスク着用・入室前手指消毒・体調不良時の入室自粛にご協力ください
- 会議中、換気のため定期的に休憩を入れています
- 傍聴の際は、体調の確認、傍聴席の間隔をあけて着席を依頼しています

予算決算特別委員会

県会自民党 西本 正俊 議員



- ・北陸新幹線について
- ・洋上風力発電について
- ・コロナ禍の影響について

洋上風力に関し地元等の理解状況と県の事業進展への取組について質した。

県会自民党 宮本 俊 議員



- ・コロナ禍における地域コミュニティの維持について
- ・福井県多文化共生推進プラン(骨子案)について
- ・ふくい未来企業支援ファンドについて
- ・温室効果ガス対策について

「本当の意味」での多文化共生を達成する為の事業計画を求めます。

県会自民党 仲倉 典克 議員



- ・県政全般について

喫緊の課題であります北陸新幹線や原子力政策を中心に議論しました！

予算決算特別委員会では、長田 光広 議員、佐藤 正雄 議員、野田 哲生 議員、田中 宏典 議員、田中 三津彦 議員、辻 一憲 議員も質問を行っています。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、質問項目や審議の様子は、議会ホームページやYouTubeでご覧になれます。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。
HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

◆3月定例会 会期日程予定

2月16日(火)	開会
2月19日(金)	代表質問
2月25日(木)・26日(金)	一般質問
3月 2日(火)	常任委員会 (厚生)
3月 3日(水)	常任委員会 (総務教育)
3月 4日(木)	常任委員会 (産業)
3月 5日(金)	常任委員会 (土木警察)
3月11日(木)・12日(金)	予算決算特別委員会
3月17日(水)	閉会

常任委員会

総務教育常任委員会

「福井県手数料徴収条例の一部改正について」などの4議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、「子どもたちが平等に学べる教育環境をつくるための人員の増員に関する請願」、「地域における社会教育をコーディネートし推進する専門人材の育成に関する請願」については採択、「日本学術会議の任命拒否を撤回し、105名全員の任命を求める意見書提出に関する請願」については不採択と決定しました。

所管事務の調査では、北陸新幹線金沢－敦賀間の開業時期の遅延等が示されたことについて、「工程管理の関わり」、「地方負担のスタンス」などについて質疑を行いました。このほか、「多文化共生推進プラン」などについて議論しました。



視察（北陸新幹線敦賀駅高架橋）の様子

厚生常任委員会

「福井県ふぐの処理に関する条例の一部改正について」、「指定管理者の指定について（福井県ふるさと海浜公園）」などの4議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、請願の審査も行い、「子どもたちを自転車事故から守るための条例制定に関する請願」については採択、「75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討中止を求める意見書を国に提出することを求める請願」については不採択と決定しました。

所管事務の調査では、原子力行政について、「中間貯蔵施設の県外立地」、「大飯発電所3、4号機の設置変更許可を取り消す判決」、「原子力に対する国民・県民理解」などについて質疑を行いました。このほか、「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種」などについて議論しました。



大飯発電所3、4号機

産業常任委員会

「指定管理者の指定について（福井県立馬術競技場）」、「指定管理者の指定について（福井県すいせんの里）」などの10議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、県内の消費活動を応援することを目的としたデジタルバウチャーについて、発行時期、仕組みなどについて質疑を行いました。このほか、「北陸新幹線福井・敦賀開業延期の影響」、「移住促進について」、「高度IT人材の確保」、「鳥獣害への対策」、「パックご飯の輸出について」などについて議論しました。



福井県の消費応援キャンペーン

デジタルバウチャー 事業のロゴイメージ

土木警察常任委員会

「訴え提起前の和解申立てについて」、「指定管理者の指定について（福井駅西口地下駐車場）」などの10議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、道路の雪対策について、「平成30年豪雪の問題点とそれを踏まえた対策」「情報発信の内容や方法」などについて質疑を行いました。このほか、「横断歩道の利用啓発や予告マークの周知」、「飲酒運転による事故」、「特殊詐欺の被害防止対策」、「女性、子どもが被害者となる犯罪の状況と対応」、「福井駅前再開発事業」、「道路の将来ビジョンの改定」、「福井港丸岡インター連絡道路の整備」などについて議論しました。



横断歩道の予告マーク



予算決算特別委員会

本委員会に付託された令和2年度福井県一般会計補正予算などの7議案について審査を行った結果、原案のとおり可決しました。

審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○北陸新幹線の開業遅れについて

北陸新幹線の開業遅れ問題に関し、知事の評価、今後の対応についてただしたのに対し、「工期の1年遅れ、事業費の増嵩は大変遺憾であるが、これをプラスの方向に向けていかなければならない。工期はこれ以上遅らせない。地方負担は極小化を求めていく。敦賀以西の着工については、確実に令和5年度当初の着工、令和12年度末の全線整備実現に持っていかなければならない」との回答がありました。

これに対し、委員からは、福井県の置かれている状況を勘案し、知事、議会が同じ方向を向いて国に働きかけ、あらゆる機会・手段を使って成果を獲得していくことが重要であるとし、次の項目について国に対し強く要請することを提言しました。

- 北陸新幹線金沢・敦賀間については、令和5年度末までに開業させること。工事の進捗を定期的に監視し、工期の再延期は認めない。
- 与党PTで示された実質地方負担分については、継続的に更なる縮減に努めること。
- 今回の事態において発生する並行在来線開業における1年間の経費においては国が責任を持って確保し、さらに開業後の運営費においても法制化を含めて経営の健全化に努めること。
- 敦賀・大阪間については、令和5年度当初に着工する。責任のある事業主体により令和12年度末頃までの全線整備を進めること。
- 新幹線開業に向けたまちづくりに対し、政府全体での継続的な支援を約束すること。

これに対し、知事からは、「考え方は一致しており、この方向に沿って、国に対しいろんな形で強く申し入れを行っていく」との決意が示されました。

(なお、先の提言を踏まえ、閉会日に決議案が上程、可決されました。)

○原子力政策について

大飯3、4号機の設置許可取り消し判決の与える



新幹線議員連盟による北陸新幹線加賀トンネル視察

影響について質問があり、「全国で初めての40年超運転であり安全性の確保は全国的に関心が高い。今回の判決で県民・国民が非常に不安に思う状況にあり、県民向けに原子力規制委員会なり国が説明する場を来月にも持ちたい」との回答がありました。

また、再稼働の判断のスケジュール、検証プロセスについてただしたのに対し、「スケジュール感があるわけではないが、中間貯蔵施設の計画地点の提示、今後の進め方について関電からの説明の機会を設けたい。安全性の確保や地域振興など国や事業者に向けているボールの回答も確認し、立地町の意見、県議会の判断、県原子力安全専門委員会の審議を経た上で慎重に判断したい」との回答がありました。

○その他

新型コロナウイルス感染症対策、多文化共生推進プラン、道路の将来ビジョンの改定、公共施設やインフラの整備、部活動の地域移行、移住政策の見直し、IT系企業のサテライトオフィスの誘致、ふくい未来企業支援ファンド、洋上風力発電、クマ対策など広範多岐にわたり、それぞれ理事者の考え方や対応について質疑を行いました。

特集 意見交換会の開催

県議会では広報広聴活動の一環として、さまざまな分野で活躍されている県民の皆さんとの意見交換会を行っています。

前号では9月7日(月)に行った医療法人健康会との意見交換会について紹介しましたが、今回は9月4日(金)に、県内の青年経済人で構成する公益社団法人福井青年会議所(以下、福井JC)の皆さんから、新型コロナウイルス感染症の影響やまちづくり・ひとづくりなどについてご意見を伺いましたので、ご紹介します。

なお、詳しい内容は福井県議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

県議会広報会議 辻一憲副会長、大森 哲男委員、小堀 友廣委員、山浦 光一郎委員

公益社団法人福井青年会議所 見谷 頼貞理事長、清川 高行監事、金本 篤副理事長、伊藤 幸平副理事長、林和哉専務理事

※役職は意見交換会開催当時のものです。



◎新型コロナウイルス感染症の影響について

(議 員) 新型コロナウイルス感染の県内経済への影響や企業の取組みについて教えてください。

(福 井 J C) 宿泊業や飲食業では、売上が前年に比べ大幅に減少しています。特に、新型コロナウイルス感染が拡大し始めた頃は、売上はほぼゼロという状況でした。その後、県の「ふくいdeお泊りキャンペーン」や国の「GoToキャンペーン」などの効果もあって、徐々に回復してきていると思います。

一方で、建設業では、それほどの影響は出ていないように思います。

新たな取組みとして、キッチンカーを使った事業展開を考えているが、どのような支援があるのかよく分からない。国や県などが行っている支援制度があれば、分かりやすく情報提供をお願いします。

今回のコロナ禍を機に大きく変わったのは、これまで東京に集まって行われてきた県外との会議などが、テレビ会議等を活用することで福井にいながら参加できるようになってきたことです。

◎まちづくり・ひとづくりについて

(議 員) 本県のまちづくりやひとづくりのためにどのような取組みが大切だと思いますか。

(福 井 J C) 今回のコロナ禍をチャンスと捉え、本県の住みやすさをもっとアピールすることで、新型コロナの影響が大きい首都圏などから移住してもらうよう働きかけるといいと思います。

また、本県の教育に対する満足度についてしっかりとしたエビデンス付けを行い、県民がそれに対して誇りを持つとともに、県外に向けてもっとアピールできると思います。

地元に残って地域を支えていく人材を確保するために、若い社員の資格取得や研修など、社員育成に対する補助を拡充することも大事だと思います。

学生の企業観について、都会の大企業だけではなく、地元の中小企業にも、実は全国トップシェアを持つ優良企業があるという認識を育てていくことが大事だと思います。

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/